

かけはし

常総市議会だより



目次

Page 2-3

かけはしインタビュー
常総市グラウンド・ゴルフ協会

Page 4-11

かけはし一般質問
6月定例会議

Page 12-13

審議案件と結果
6月定例会議
7月随時会議

Page 13

各種委員一覧

Page 14

各常任委員会について
活動の抱負・会議の開催

Page 15

鬼怒・小貝水防訓練に出席
取手市へ災害見舞金の贈呈
永年勤続議員表彰

Page 16

常総橋百景
「第十一景 菅生沼ふれあい橋」

No.243

発行月：2023年8月
責任者：常総市議会議長
編集：議会広報委員会
発行：常総市議会
0297-22-0318
www.city.joso.lg.jp

動画でみる
常総市議会





かけはし インタビュー

市議会

×



常総市グラウンド・ゴルフ協会

市議会(以下、議会)

常総市グラウンド・ゴルフ協会とはどのような団体ですか。

会員

グラウンド・ゴルフ協会は平成14年に発足し、現在134名が加入し活動しています。男女比はほぼ同じくらいの人数です。平均年齢が80歳なので、もう少し若い方に入ってもらいたいと思っています。

議会

みなさんがグラウンド・ゴルフを始めたきっかけは何ですか。

会員

・友達からの誘いがきっかけです。
・もともとゴルフをやっていたこともあり、グラウンド・ゴルフに興味を持ち始めて始めました。

議会

グラウンド・ゴルフのやりがいについて、楽しさや喜びなどお聞かせください。

会員

・外に出ること、参加して他の人と顔を合わせるのが楽しいですね。
・健康のためには一番いいと思います。
・今日は練習日だと思うと生活にメリハリがつき生きがいになっています。
・仲間とワイワイしながら参加することが楽しいです。みんなとお話するのが一番いいですね。

議会

普段はどこでどのような練習をしています

か。

会員

8つの支部があるので、それぞれ支部ごとに地域の公園等を借りてやっています。練習は試合と同じような形で、ワイワイガヤガヤしながらホールインワンが楽しみでやっています。

議会

グラウンド・ゴルフ協会としてグラウンド・ゴルフ以外に別の活動はあるのでしょうか。

会員

・グラウンド・ゴルフ以外は、ほとんど支部ごとになりますが、忘年会や新年会がありますね。
・ペタンクと輪投げを毎週月曜日にやろうと



第1打目！飛ばすぞ

いう計画でやっています。

議会

今後の活動でやっていきたいことは何かありますか。

会員

平成27年度から国体の種目になっており、県に登録して県の大会で上位に入ると出場できます。今後出場する方がいたら、是非、市で補助してほしいですね。

議会

グラウンド・ゴルフをまだ知らない方や興味がある方たちに何かメッセージをお願いします。

会員

グラウンド・ゴルフを皆さんに知ってもらうためには、例えば、学校等でお子さんと保護者が一緒に体験してみる、おじいちゃん、



ボールよ、入れ！

おばあちゃんがやっているところと一緒に来てもらい体験してもらおうなど、それをきっかけに始めてくれたらと思っています。ルールが簡単だから誰にでもできると思います。協会の発足時には、300名以上でしたが今は134名になっています。会員数を増やすために呼び掛けをしています。なかなか集まらないのが現状です。高齢者には本当に良いスポーツです。体を適度に動かしているし、みんなと話をするのが、楽しいだけではなくて健康寿命の延伸にも繋がると思います。少しでも興味があれば、是非、私たちと一緒にやりましょう。

(令和5年5月インタビュー)



よく狙って

聞きたい 知りたい まちのこと 市政のこと

常総市議会映像配信中!! <http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



※内容は発言議員本人からの寄稿によるものです。

議員

当市の出生・死亡・転入・転出の人数について伺う。

市民生活部長

出生数は令和4年が287人、平成30年が383人。死亡数は令和4年が830人、平成30年が780人。令和4年転入者数は3459人、転出者数は3233人となっている。この5年間で出生数が減少し、死亡数は増加し少子化や人口減少が進んでいる。

議員

当市が進める少子化対策事業について伺う。

保健衛生部長

出生前の支援は、妊婦検診の助成やプレパパママ教室において、妊婦体験や沐浴練習を実施している。子育て支援では、産婦健診や新生児聴覚検査費用を助成している。出産子育て応援給付金事業は、全ての妊婦や低年齢期の子育て家庭を対象として妊娠時から必要な支援を適切に繋ぐため、伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠期や出産後に給付金を給付する経済的支援を実施している。



柴典明 議員

答弁 質問

少子化問題について

議員と連携し、市全体で進めていく

柴議員の
質問動画



議員

新規事業及び今後について伺う。

子ども課長

常総市子ども・子育て支援事業計画が見直し時期を迎えており、子育て支援に関する意見、要望を把握するためニーズ調査を実施していく。

議員

少子化が進むと現在の社会システムの維持が困難になり、企業活動が停滞し給与が下がる。それに伴い税収や保険料の収入が減り、年金や医療介護などの社会保障制度の運営も難しくなる恐れがある。少子化問題に対する、市長の今後の決意や考えを伺う。

市長

大変重要な課題に対しての質問と認識している。様々な少子化対策の施策について紹介、提言をいただいた。子育て世代がどンドン移住してもらえようような仕組みづくり、雇用、子育て施策、教育環境等をプロモーションしていく。今後とも議員と連携し、少子化対策を市全体で進めていきたい。



佐藤 剛史 議員

質問 道の駅常総の営業時間の延長について

答 弁 運営側と対話を重ね適切な営業時間について見直しを訴えていく

佐藤議員の質問動画



議員 現在の道の駅常総の営業時間は午前9時から午後5時までだが、市民の皆さんからの意見で最も多い内容が営業時間の延長である。市民の皆さんが、平日の仕事終わりに行ってみようとしても、今の営業時間では午後5時に閉店のため使いづらい状況である。普段から買物や食事のできる施設であってほしいとの要望に対して、現在、当市としての考えを伺う。

産業振興部長 営業時間は指定管理者であるTTCグループが、これまで運営を行ってきた施設状況などを踏まえ設定している。多くの道の駅が午前中から昼過ぎ頃までがピークとなることから、この時間を設定している。特に混雑時においては、お客様の列が無くなるまで1時間程度延長するなど臨機応変に対応しており、オープンからの混雑状況が落ち着くと、指定管理者の運営の経験上から営業時間が適切になると予想している。営業時間の延長については、要望内容を指定管理者へ共有し、より良い施設運営

議員 道の駅の勢いと効果が大きいこの時期のチャンス逃さずに、地域の方々と市全体を盛り上げていくために地元の声の反映をお願いしたい。県外で人気の道の駅の営業時間を見てみると栃木、群馬、埼玉、千葉エリアの平均は午前9時から午後6時が多く、長いところでは閉店時間が午後9時である。茨城県内の営業時間は午前9時から午後6時が多い状況である。他の道の駅に負けないような取り組みをお願いしたいが、市長の考えを伺う。

市長 私も記憶にないくらい多数の声をいただいている。グラントオープン時になるべく午後6時、7時まで営業してほしいことを社長にお願いし、状況に応じて午後6時まで延長していただいている。今後も運営側と対話を重ね何時までが適切なのか、TSUTAYAとの相乗効果、市民の皆さんの利便性、運営側の経営面も含めて見直しを訴えていく。

議員 地域交流センターの入館者数に目標的なものがあるのか伺う。

生涯学習課長 水害以前のホール利用者数で3万人、展示室及び展望の利用者数で2万人を目標としている。今後、道の駅常総との連携や展示の工夫等により、更なる利用拡大に繋がっていく。

議員 常総観光の歴史文化を訪ねる市内周遊の施設の一つとして、どんなところを工夫しているのか伺う。

教育部長 特徴的な展示として、国交省下館河川事務所の協力により、水害を経験した当市ならではの治水の歴史やジオラマによる地形から見る当地域の土地形状を知ること、及びマイタイムライン作成体験などの取り組みを実施している。また、6階では『長塚節デジタルミュージアム』として、プロジェクトミュージアム』として、プロジェクションマッピングの映像や音楽で郷土の歌人、作家である長塚節の文学の世界を紹介している。そして、天守閣展望台からは、当市農業の中

心となる水田地帯と筑波山が一望できるスポットになっている。

議員 地域交流センターを当市のランドマークとして、また歴史博物館としての特徴をしっかりと打ち出して活性化を図るために、今後の改善点や努力点について伺う。

教育部長 現在、地域交流センター利用の利便性がより向上するよう専用の駐車場（135台駐車予定）を整備している。

生涯学習課長 1階ロビーエントランスの受付前及びエレベーター付近の照明や動線のレイアウト見直しを検討する。受付職員についても丁寧な案内ができるよう接遇の向上を図る。

議員 館内及び周辺のレイアウト見直しや人的配置等に十分配慮して、地域交流センターという名称のとおりに多くの人が交流できる場になるよう工夫・改善をお願いする。

【その他の質問】 ★菅原小学校スクールバスの運行状況について



草間 典夫 議員

質問 地域交流センター（豊田城）にさらなる魅力とにぎわいを

答 弁 専用駐車場の整備他、ロビーエントランスのレイアウト見直し等を検討する

草間議員の質問動画





吉原 晴照 議員

質問
アグリサイエンスバレー
事業の進捗状況について

答弁
事業計画は順調に推移している

吉原議員の
質問動画



議員

企業立地ゾーンとして、2番目に建設しているマルチテナント型物流施設の進捗状況を伺う。

産業振興部長

7月末の竣工に向け、建設工事が進んでいる。地上5階建てで、総賃貸面積は約5万2500坪となる。

議員

入居する企業は、アグリサイエンスバレー事業に関連する企業か伺う。

アグリサイエンスバレー整備課長

流通及び加工など6次産業に関わる企業が入居し、更に雇用創出が図られればと考えている。

議員

農地エリアの計画は、観光農園ゾーンのグランベリー大地は順調に稼働している。大規模施設園芸としての(株)たねまき常総のミニトマト栽培は、5月26日のプレスリリースでは日本最大級のミニトマト生産拠点完成し、5月下旬には出荷開始することであるが最新の情報を伺う。

産業振興部長

(株)たねまき常総は、5ヘクタールの栽培施設が3月末に完成。4月初旬にミニトマト栽培を開始して、5月末には初収穫を行った。

議員

大規模施設園芸ゾーンとして、(株)ファームシップの葉物野菜等の植物工場の計画について伺う。

産業振興部長

昨今の経済状況の変化により、事業計画の変更を余儀なくされているとの報告を受けている。今後の地権者協議会において説明があるため現状を見守りたい。

議員

(株)ファームシップの今後の動向は、撤退等がある場合は速やかに県の農地関連部署に相談する等の対応を要望する。

アグリサイエンスバレー事業による固定資産税は当初2億円と聞

いていたが現時点の見直しを伺う。

産業振興部長

今後、建物が全て建築された場合は、土地を含めて、約3億円以上になると見込んでいる。



石塚 剛 議員

質問
道の駅常総オープンの課題と人口減少・少子高齢化の今後の取り組みについて

答弁
アグリサイエンスバレー事業を機に、人口流出防止、定住人口促進を進めていく

石塚議員の
質問動画



議員

道の駅常総オープン以降の来場者、市内周遊状況について伺う。

産業振興部長

5月末で約26万人が来場され、前年比で地域交流センターが約1.5倍、坂野家住宅が約3倍の来場者数となっている。

議員

交通渋滞で農業者への不便や事故の危険性の懸念について伺う。

アグリサイエンスバレー整備課長

地域の皆さまにご不便をお掛けしたことをお詫びする。今後、情報共有を図り、茨城県や警察へも相談し対策をしていく。

議員

交流人口の増加に伴う地域防犯対策について伺う。

アグリサイエンスバレー整備課長

三妻駅に歩行者動線案内を掲示し、安全ルートを案内している。また、警察の定期的なパトロール区域に加えるよう協議していく。

議員

防犯カメラの設置についても地域からの要望として検討してもらいたい。

道の駅常総の多目的トイレの大型ベッド設置要望について伺う。

アグリサイエンスバレー整備課長
より良い利用を検討していく。

議員

道の駅常総の防災体制について伺う。

市長公室長

適切な情報提供、保護、支援を行う。道の駅常総の運営委託先との協定により、来場者への災害時支援を行うこととしている。

議員

少子高齢化、人口減少問題の今後の取り組みを市長に伺う。

市長

アグリサイエンスバレー効果は絶対のチャンスと受け止めている。シテイプロモーションを強化、移住定住施策や子育て・教育環境の整備を中心に人口減少対策に備えていきたい。

議員

未来創生の取り組み推進とともに、多くの皆さまから選ばれ住み続けてもらえるまちづくりを期待する。

用語

【シテイプロモーション】

内外に地域の魅力を発信することでイメージを高め、地域経済の活性化につながる活動。地域再生や観光振興、住民協働など複数の目的があり、地域自体の知名度向上、経営資源の獲得を目指すなど、さまざまなとらえ方がある。



倉持 守 議員

質問 公共交通の広域連携の早期実現について

答弁 利用者の要望を聞きながら近隣自治体と協議していく

倉持議員の質問動画



議員

現在、市内の交通手段は民間の関東鉄道常総線、タクシー、路線バス、当市ではデマンドタクシー、福祉タクシーがある。令和6年度からコミュニティバスを導入予定であるが、路線本数やバス停について問う。

都市建設部長

運行ルートは市を北部、中部、南部と3つのエリアに分け令和6年度に向けて進める。バス停等については、今後、協議を進め詳細を決定していく予定である。

議員

バス停の設置は歩いて行ける範囲の500m位にして頂きたい。

都市計画課長

現地調査し、公民館を交通結節点とし500mから1kmの範囲内に設定したい。

議員

隣接する下妻市・坂東市・つくば市・つくばみらい市・守谷市の近くにバス停を設置、若しくは乗り入れはどうかと考えるが市の考えは。

都市計画課長

守谷市のモコバス、つくばみらい市のみらい号は、当市の近くまで来ているので乗り継ぎが安易と考えている。つくば市、坂東市、下妻市は難しいと考える。今後、利用者の動向や要望を聞きながら近隣自治体と協議を進めたい。

議員

広域連携は隣接自治体との協議が必要となる。市長の考えを問う。

市長

隣接の人の流れが出てくると思うので、近隣自治体との連携をしっかりと図っていきたい。

議員

デマンドタクシーの現状と改善策について問う。

都市建設部長

新型コロナウイルスが5類に移行され、令和3年度と比べると利用者数も若干の回復が見られる。コミュニティバスの運行後は、コミュニティバスの乗り入れが難しい地域をカバーするなど運行方法の見直しを考えていく。

議員

予算面も総合的に考え、市民が満足できる交通施策をお願いする。



中村 安雄 議員

質問 坂手・内守谷地区の幹線道路開通に伴う税収等について

答弁 税収増に向けて、積極的に進めていく

中村議員の質問動画



議員

坂手・内守谷地区の幹線道路開通に伴い、企業がどんどん進出して、多額の税収が確保されているが新事業所に対する課税状況について問う。

総務部長

元の地目が農地や山林の場合1㎡あたり0.5円から1円の課税だったところが、宅地に変更となったことで1㎡あたり125円程度になると見込まれる。また、建物については、一般的な倉庫の場合、床面積1㎡あたり750円程度になると見込まれる。農地や山林が工業用地化された場合の固定資産税は、元の利用状況と比較すると大幅な税収増となり、安定した税収の確保にも繋がっている。

議員

進出企業に対する企業立地奨励金、雇用拡大奨励金制度の令和3年度、令和4年度の状況について問う。

産業振興部長

この制度は令和3年度に事業を開始したところである。令和3年度の企業立地奨励金は8事業所

1247万6600円であり、雇用拡大奨励金は4事業所11人分で110万円である。令和4年度の企業立地奨励金は、交付2年目として8事業所1247万6600円、交付1年目として6事業所1252万4100円、合計14事業所2500万700円である。雇用拡大奨励金は4事業所8人分で80万円である。

議員

固定資産税は課税がずっと継続していくため、安定した税収になってきていることは間違いない。坂手・内守谷の取り組みに対する市長の考えを問う。

市長

坂手・内守谷については、アグリサイエンスバレー事業の税収3億円の3倍規模になってくると思われる。財政的にも10年から20年後を考えると大きな成果に繋がると思われる。この先を考えると、国道354号線から大生郷工業団地まで、鬼怒川ふれあい道路が接続すれば、さらに大きな効果が期待できるため、それに向かって進めていく。



塚本 治男 議員

質問 公共交通の移動手段について

答弁 市民ニーズを把握した上でコミュニティバスの広域連携を実施したい

塚本議員の質問動画



議員

高齢者による交通事故が多発する中、運転免許証を返納すると交通手段が絶たれ、高齢者等の移動が困難になる。交通弱者を作らな

都市建設部長

現在、当市では予約型乗合交通ふれあい号を運行している。その他に関東鉄道常総線・広域路線バス3路線とタクシー会社5社、福祉有償運送事業者2社がある。さらに、令和6年度からコミュニティバスの運行を予定している。

議員

コミュニティバスはどのような目的で運行するのか伺う。

都市建設部長

地域の中心拠点や交流拠点を結ぶ路線を設定し、地域住民の日常生活の移動ニーズに対応することを目的としている。

議員

コミュニティバスと予約型乗合交通ふれあい号の役割を尋ねる。

都市建設部長

質問 公共交通の移動手段について

答弁 市民ニーズを把握した上でコミュニティバスの広域連携を実施したい

塚本議員の質問動画



議員

コミュニティバスは地域の居住区域と中心市街地の各拠点を結ぶ交通手段であり、予約型乗合交通ふれあい号は交通の空白地帯を解消するという役割を果たしている。

都市建設部長

基本的には既存の鉄道・広域路線バスでの乗り継ぎを想定している。各自自治体が運営するコミュニティバスは、地域の実情に合わせて路線・時間を設定しているため、スムーズな乗り継ぎをすることは難しい状況である。

議員

公共交通の広域連携について市長に伺う。

市長

市民ニーズをしっかりと把握した上で、速やかに実施できるようにしたい。

議員

交通弱者を作らないためにも多用途の目的に応じて利用でき、地域に貢献できる公共交通機関の構築をお願いする。



岡野 一男 議員

質問 市議会議員選挙における二重投票について

答弁 再発防止に努め、正確な選挙事務を遂行していく

岡野議員の質問動画



議員

今回の二重投票の顛末について尋ねる。総務部長 投票終了後、有権者の数と投票用紙の残枚数が一致しなかった。調査の結果、受付係がパソコン画面を見誤ったためと判明。今後はマニュアルの見直しを行い、再発防止を図るとともに、正確な事務の遂行に取り組んでいく。

議員

受け付けのチェック体制はできていたのか。総務課長 期日前投票所の人員は6人体制。3人の事務従事者は人材派遣会社からの派遣職員である。

議員

二重投票の取り扱い、選挙の効力について尋ねる。総務課長 どの投票用紙が二重投票であるか判別できないので、他の票と同じ扱いとした。選挙の異議の申し出の期限までに申し出がなかった

議員

事務従事者は派遣職員であるということだが、研修等はどういうことだが、研修等はどういうことか。総務課長 業務の開始前に時間を取り、マニュアルを配布し、事務の流れ、パソコンや自動交付機の手順を説明している。

議員

従事者の人数は増やせないのか。総務課長 混雑が予想されるときは、重点的に配置できるよう検討していく。

議員

事務従事者に対する研修は、日を改めて事前に行うのが研修ではないのか。業務開始前の短時間で理解されたのか。総務課長 実際に業務に携わりつつ、操作を習熟していただくという形で研修としている。

議員

選挙事務は重大な事務であり、研修は時間をかけて行うべきである。選挙投票の不正は民主主義の根幹を揺るがすもの。今後は慎重かつ正確に対処してほしい。



柳井 真吾 議員

質問 高齢者の補聴器購入費用助成について

答弁 ニーズ調査の結果をふまえ、積極的に進めていく

柳井議員の質問動画



議員

加齢などにより耳が聞こえにくくなっている方が多い。聞こえにくくなると社会的交流が減少し、鬱や無気力、孤独に陥ることもあり、認知機能の低下につながる。また、難聴による障害者手帳取得の対象とはならない方でも、日常生活には様々な困難が生じてくる。さらに、認知症の進行には難聴の放置が大きく関連性があると言われており、積極的な補聴器の装着がコミュニケーションにおける課題を軽減する。しかし、補聴器は日本補聴器工業会の調べによると片耳で平均約15万円と高額であり、経済的負担も大きくなっている。以上のことから、私はこれまでに2回、定例会において補聴器購入費用助成を提案し、市からは前向きに検討するとの答弁があった。その後の進捗状況を伺う。

福祉部長

令和6年度に策定する常総市高齢者プランの基礎資料となる介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を令和4年9月定例会以降に実施した。その調査の中で、聴力と補聴

器に関する実態や生活支援ニーズなどの質問項目を取り入れた。その調査結果から傾向として65歳以上の約2人に1人は生活上で耳が聞こえにくいと感じている。調査結果を踏まえ、分析すると、耳が聞こえなくなったと感じることがよくある、たまにあると回答した方で、補聴器を購入したいと回答する割合は高い傾向にあり、補聴器の購入を希望しても経済的にゆとりがない方が多い傾向にあることが確認できた。

議員

ニーズ調査の結果からも、補聴器購入費用助成は健康寿命延伸対策として当市における喫緊の課題であり、早期に必要なと考ええるが、市長の見解を伺う。

市長

担当課からも答弁したとおり、大體分析ができてきており、どのくらい予算割合かという部分も把握できる段階になってきているので、補聴器購入費用補助について進めていきたい。

【その他の質問】

★奨学金返還支援について



入江 起史 議員

質問 市で行われている買い物支援の取り組みの現状について

答弁 現在実施している3事業を周知することで、買い物弱者を支援する

入江議員の質問動画



議員

移動スーパーの停留所を追加してほしい場合は、どのようにしたらよいか伺う。

幸せ長寿課長

幸せ長寿課の支援係にて、市民からの要望は随時受け付けている。新たな停留所の要望が出た場合には、販売車が停車できる場所が確保できるか、既存の商店がないかを確認し、現地を視察した上で決定している。

議員

現在、当市が実施している買い物代行サービスの概要を伺う。

福祉部長

外出を控えたい高齢者や、日常生活用品の買い物ができる店舗までの外出が困難な高齢者に代わって、買い物を行う事業である。サービスを利用する場合は、幸せ長寿課にて申請をしていただく。利用にかかる費用は1400円となるが、利用者の自己負担は200円である。

議員

買い物おたすけ帳について、事業の概要を伺う。

福祉部長

買い物おたすけ帳は、常総市買い物支援事業の成果物であり、市民の在宅での生活を支援するとともに、地域での見守り強化を目的とし協力店としておとどけ店とサポート店がある。支援の内容はおとどけ店が、食品、衣類、日用品や弁当等の配達サービスのほか、掃除、電球の交換、電化製品の修理等の出張サービスである。なお、おとどけ店は、一人暮らし高齢者への配達時等において異変を察知した場合には市へ連絡するなどの高齢者の見守り活動に協力することとなっている。また、サポート店は、店内を休憩所または待合室として開放することや、駐車場まで購入品の運搬等の手伝いのほか、店内での購入を支援している。

議員

買い物おたすけ帳は、お店と消費者、双方にメリットのあるともよい取り組みである。支援の面でも、地域経済の活性化の面としても、引き続き改善に向けた取り組みをお願いする。



堀越 道男 議員

質問

学校給食の無償化について

答弁

一般財源で継続的に
行っていくのは難しい

堀越議員の
質問動画



議員

当市の学校給食の現状を伺う。

教育部長

管理運営費は市が負担し、賄い材料の購入費を保護者が給食費として負担している。小学生は月3800円、年4万1800円。中学生は月4200円、年4万6200円。県立付属中学校の市外生徒は月4900円、年5万3900円である。令和5年度の給食提供は小学生2740人、中学生1629人で、年間の給食費は、1億9千万円を見込んでいます。

議員

学校給食費も含めて教育費の負担が問題である。小学校で年間10万円、中学校で17万円かかると言われている。

水戸市では教育費が小学校より中学校の方が高いということから中学校から先に無償化し、今回の統一地方選挙終了後に、小学校の無償化の考えが出された。北茨城市も中学校は実施していて、小学校も中学校は実施している。坂東市は臨時交付金で半額にするという。こうした流れが広がっている中で、教育

委員会としては国がやるまでアプローチしないのか伺う。

教育部長

学校給食費無償化については、子育ての支援や少子化対策、定住化促進、物価高騰対策などの観点から意義あるものと考えている。しかし、一般財源だけに頼る給食費の無償化を継続的に行っていくことは難しい状況である。今後は国や県の動向を注視するとともに、国費による無償化を要望していきたい。

議員

逃げの論理である。意義については憲法26条に書いてある。まず子どもの権利として義務教育を補償する。次に国、自治体や保護者がこれを義務的にするというのが憲法26条の解釈だと思う。国がやらないなら自治体が率先してやるべきだと思う。

教育部長

価値は十分理解しているが、給食費無償化に特化した内容で、子育ての全てが解決するのかどうか、総合的に考えなくてはならない。



遠藤 章江 議員

質問

公共施設の和式トイレで高齢者が動けなくなってしまうこと知っていますか?!

答弁

まずは小中学校の洋式化を
最優先に整備していく

遠藤議員の
質問動画



議員

水海道駅前広場のトイレ建設について、関東鉄道(株)といかなる協議が進められているのか。

都市建設部長

関東鉄道(株)との協議により、駅の利用者以外の方でも駅構内トイレを利用することが可能であるとのことで、新たなトイレの設置の協議は行っていない。

議員

通常、改札内のトイレを使うには入場券が必要という規則がある。いつまでも関東鉄道(株)に甘えている訳にはいかないという認識を持っていただきたい。水海道駅構内はイベント等で利用したり、令和6年は循環バスの発着場となるが、市民の広場と同様なレンタルトイレを設置する考えがあるか。

地域拠点整備課長

周辺の利便性の向上を見据えたまちづくりの一環として検討していく。

議員

市内の小中学校トイレの洋式化の現状を伺う。

教育部長

令和5年4月1日現在、全小学校舎の大便器数は441か所、うち洋式便器数は233か所、洋式率は53%。全中学校校舎の大便器数は220か所、うち洋式便器数は152か所、洋式率は69%である。現在、小中学校校舎のトイレ洋式化工事を実施する計画の作成に着手し、3年程度の集中期間を設け洋式化する予定である。

議員

教師も妊娠中などは和式トイレが使いにくいとの声をたくさん聞く。教員の確保という意味でも、職員用のトイレも含めて洋式化をお願いしたい。今後、洋式化に向けた予算はどの程度になるのか。

議員

学校教育課長
設計を行わないと詳しい金額は出てこないが、約2億円弱程度の金額は必要と想定している。

議員

子どものために2億円かけるのは安いと感じる。道の駅よりも公共施設のトイレ洋式化を望む声が大変大きい。税金が自分たちの幸せのために使われている実感を持てるような事業を進めていただきたい。



茂田 信三 議員

質問
ストップ！税金の無駄遣い

答弁
十分努力する

茂田議員の
質問動画



議員

アグリサイエンスバレー事業の収益を生む事業は大賛成である。常総ブランドの農作物は拡大して欲しい。問題なのは指定管理者との契約と多額の金額を費やしていることである。(総合振興計画で最初は旧石下町のバイパス隣へ物産店を造る答申である)総額30億以上の建設費は回収するのか。

産業振興部長

公共施設だから回収はしない。

議員

市長は企業と同じく利益を生み出すことに目標を置いていると言っているが、それでは整合性がとれないではないか。開業する前は旧水道商店街への経済効果があると言っていたが、地元商店主の話では全然ないと言っている。利益を得るのは指定管理者だけである。地元にはメリットがない。

アグリサイエンスバレー整備課長

議員が言う通り、まさにその通りと考えている。市内へ周遊してもらおう仕組みづくりを、今後展開していく。

議員

選挙で歩いて、道の駅が出来て良かったという人に、30億以上の税金がかかるというと、皆びっくりして税金の持ち出しがないと思っていた。指定管理者が市へ払うお金は売り上げの1%の契約である。仮に10億円の売り上げで1千万円である。これでは利息にもならない。

2億3千万の税金で太陽光発電をなぜ設置するのか。しかも、なぜ売電の料金を請求しないのか。そのお金を一般家庭に電気料金の補助とすべきである。また莫大な解体費用は誰が負担するのか。

産業振興部長

国策であり解体費用は計上していない。

議員

道の駅のオープン費用2千3百万円の支出は違法ではないか。会社なら背任罪である。管理会社との契約で4月1日以降の支出は一切管理会社の負担であり、常総市は一切支出しないという契約である。どの契約書にもオープン費の支出契約は見当たらない。

議員

道の駅のオープン費用2千3百万円の支出は違法ではないか。会社なら背任罪である。管理会社との契約で4月1日以降の支出は一切管理会社の負担であり、常総市は一切支出しないという契約である。どの契約書にもオープン費の支出契約は見当たらない。



小林 剛 議員

質問
通学路、生活道路の安全確保及びスクールバスの公平性を糾す

答弁
通学路の安全確保及びスクールバスの利用について前向きに検討する

小林議員の
質問動画



議員

通学路の改善要望箇所、178か所のうち何か所改善されたか。

学校教育課長

令和3年度は49か所、令和4年度は11か所が要望どおりの対応ができなかった。

議員

スピードを上げて通学路に、なぜ、ゾーン30の設定を常総市通学路安全推進会議(学校教員、保護者、警察、県工事事務所、市の各課)に提案しないのか。近隣自治体にはどこにでもあるが、当市にはゾーン30の設定が1か所もない。

学校教育課長

現在、ゾーン30は土俵に乗っていない。今後、協議会で検討・調査を行い警察と協議して前向きに進める。

議員

通学路、生活道路の未整備箇所が345か所ある。危険な箇所だから請願や要望を出している。道路課で要求したものを財政課でカットしているのか。

都市建設部長

大規模な補修、道路拡幅等は、緊

議員

急性、危険性、地元の協力体制等を考慮し、予算要求を行い、財政局と調整し工事している。

議員

きぬの里から絹西小学校への地域促進バスは無料、菅原小学校のスクールバスは無料、三坂のパープルバスでの通学は有料、常総線通学児童も有料、4km以上の徒歩通学児童もいる。同市内の通学方法、これが公平と言えるか。

学校教育課長

昨年度の調査で三妻小学校、飯沼小学校に4km以上を徒歩、鉄道通学していることを把握している。

議員

コミュニティバスのコース、時間帯を策定し、通学できないか。

都市建設部長

提案のとおり、通学に使えるルート設定を検討していく。

議員

市長の意見を伺う。

市長

通学路の安全、道路要望、スクールバスについて、私も議員と同じ思いである。積極的な予算編成をしていく。

【ゾーン30】生活道路における歩行者等の安全な通行を確保するため、区域(ゾーン)を定めて最高速度30kmの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策。

令和5年6月 定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、■色付き部分は賛否が分かれた案件で13ページに掲載しております。

議案番号	議 案 名	内 容	審議結果
議案第3号	常総市長等の給与及び旅費の特例に関する条例の一部を改正する条例について	平成15年度から継続して実施している市長等特別職の給料等の減額措置について、今年度末をもって廃止するとともに、改めて市長の給料に係る減額措置を講ずることに伴い、所要の改正を行うもの	可決
議案第4号	常総市税条例の一部を改正する条例について	地方税法の改正に伴い、森林環境税の賦課徴収及び特定小型原動機付自転車の種別割に係る規定の整備その他所要の改正を行うもの	可決
議案第5号	常総市手数料条例の一部を改正する条例について	個人番号カードを利用して多機能端末機で戸籍の謄本又は抄本を交付する場合における証明書交付手数料の額を定めるもの	可決
議案第6号	常総市きぬの里地域促進バスの運行に関する条例について	常総市きぬの里地域促進バス利用者負担金徴収条例の全部を改正し、きぬの里地域促進バスの利用者負担金を無料にするとともに、きぬの里地域促進バスの運行の目的等を明確化するもの	可決
議案第7号	令和5年度常総市一般会計補正予算（第2号）	補正予算の増額分 1億8,104万6,000円 補正予算後の総額 243億6,377万2,000円	可決
議案第8号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き折原一己氏を任命するもの	同意
議案第9号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き稲葉知信氏を任命するもの	同意
議案第10号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き染谷幸子氏を任命するもの	同意
議案第11号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き永瀬仁一氏を任命するもの	同意
議案第12号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き鈴木将之氏を任命するもの	同意
議案第13号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き高橋敏明氏を任命するもの	同意
議案第14号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き倉持治氏を任命するもの	同意
議案第15号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き古谷克美氏を任命するもの	同意
議案第16号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、新たに倉持和子氏を任命するもの	同意
議案第17号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き渡辺宏行氏を任命するもの	同意
議案第18号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き内海浩之氏を任命するもの	同意
議案第19号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、新たに長塚和実氏を任命するもの	同意
議案第20号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き増田亮氏を任命するもの	同意
議案第21号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き下村利治氏を任命するもの	同意
議案第22号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き石塚勝氏を任命するもの	同意
議案第23号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、引き続き荒木正治氏を任命するもの	同意
議案第24号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、新たに田中三男を任命するもの	同意
議案第25号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、新たに浅野清氏を任命するもの	同意

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第26号	常総市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	令和5年7月30日をもって任期満了となることから、新たに井沢利行氏を任命するもの	同意
議案第27号	常総市副市長の選任につき同意を求めることについて	令和5年6月30日をもって任期満了となることから、新たに石井陽氏を選任するもの	同意
議案第28号	議案第6号常総市きぬの里地域促進バスの運行に関する条例に対する付帯決議	市内通学児童の公平性を保つため、来年度に向け他部署としっかりと連携をし、コミュニティバス等を利用した運行計画を今年度内に作成することを強く求めるもの	可決
推薦第1号	常総市各種委員の推薦について	市長及び教育委員会教育長より常総市各種委員の推薦を求められたため、推薦するもの（P13参照）	推薦
選挙第7号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙について	茨城県後期高齢者医療広域連合規約（平成19年市町村指令第23号）第8条の規定に基づき、広域連合議会議員1名の選挙を行うもの 当選議員：中村博美	当選

《会議の欠席等の状況》

- 6/9 【本会議】（遅参）茂田信三
6/13 【予算特別委員会】（欠席）大澤 清
6/19 【予算特別委員会・議員全員協議会・本会議】（欠席）倉持 守

令和5年6月 定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。★議員氏名は、会派ごとに議席番号順に掲載しています。○：賛成 ×：反対 棄：棄権

議案番号	常総の志					令明会					無所属の会			未来		日本共産党	立憲民主党	会派所属無し		
	中島 義昭	塚本 治男	倉持 守	中村 博美	中村 安雄	坂巻 文夫	佐藤 剛史	柳井 真吾	石塚 剛	草間 典夫	吉原 晴照	大澤 清	遠藤 章江	岡野 一男	坂野 茂実	小林 剛	堀越 道男	入江 起史	柴 典明	茂田 信三
議案第6号	○	○	—	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第7号	○	○	—	○	○	※	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×

※議長は採決に加わらない

令和5年7月 随時会議 審議案件と結果

色のついていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件です。

議案番号	議案名	内容	審議結果
議案第29号	令和5年度常総市一般会計補正予算（第3号）	補正予算の増額分 6,106万3,000円 補正予算後の総額 244億2,483万5,000円	可決

各種委員一覧

委員会名	委員氏名	委員会名	委員氏名
総合計画審議会委員	佐藤剛史 倉持 守 茂田信三	下水道事業審議会委員	吉原晴照 遠藤章江 堀越道男
まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員	中島義昭 塚本治男	水道事業審議会委員	塚本治男 柳井真吾 坂野茂実
男女共同参画推進審議会委員	入江起史 柴 典明 石塚 剛	（財）水海道あすなろの里理事	坂野茂実 遠藤章江 中村博美
環境審議会委員	入江起史 柳井真吾 中村安雄	青少年問題協議会委員	入江起史 石塚 剛 小林 剛
国民健康保険運営協議会委員	柴 典明 大澤 清 坂野茂実	社会教育委員兼公民館運営審議会委員	佐藤剛史 草間典夫
民生委員推薦会委員	佐藤剛史 草間典夫	教育支援委員会委員	草間典夫
子ども・子育て会議委員	草間典夫	学校給食センター運営委員会委員	岡野一男 中村安雄 堀越道男
介護保険運営協議会委員	大澤 清 中村安雄 堀越道男	図書館協議会委員	柳井真吾 坂野茂実
都市計画審議会委員	佐藤剛史 倉持 守 茂田信三	生涯学習センター運営協議会委員	草間典夫
空家等対策協議会委員	中村博美	市立小中学校適正配置実施計画検討委員会委員	吉原晴照 中村博美

常任委員会の活動抱負、会議の開催

5月15日に一新した各常任委員会に、今後2年間の任期でどのように活動していくのか各委員長に抱負を伺いました。また、6月定例会議の各常任委員会における議案審議の様子です。

文教厚生委員会

学校教育や生涯学習、文化財、図書館等の教育委員会に関する事項並びに障がい者・高齢者福祉、子育て支援等の福祉や保健・健康に関する審査を慎重かつ丁寧に行い、常総市の教育や福祉の更なる充実を図っていきます。



所管 事項

福祉部、保健衛生部
教育委員会ほか

総務委員会

当委員会の所管は、市政の基本計画から税金、災害対策など多岐にわたり、内容は複雑化・高度化しています。行政と議論を重ね、市民の方の価値観やニーズを見据え、未来に継承できるふるさとづくりを目指していきます。



所管 事項

市長公室、総務部、
市民生活部、会計、監査ほか

広報委員会

この度の改選後、新たな広報委員が選出されました。議会活動や審議結果等、市民の皆さまに読んでいただける議会広報を目指しております。今後も市民の皆さまとの「かけはし」となる紙面づくりに努めてまいります。



所管 事項

議会だよりの編集・発行
広報活動

建設経済委員会

当委員会の所管範囲は、道路や水道、下水道の整備・改修等の都市建設や産業振興及び農業に関する事など、生活に直結するものがメインとなっています。市民の立場で行政に対し提案やチェックを慎重に行う所存です。



所管 事項

産業振興部、都市建設部
農業委員会ほか

取手市へ災害見舞金の贈呈

令和5年6月2日から3日にかけての大雨により甚大な被害が発生した取手市に対し常総市議会議員一同より災害見舞金10万円を6月20日、坂巻議長・佐藤副議長より取手市議会を通じてお届けしました。

この度の災害に際し、心よりお見舞い申し上げますとともに皆様方の一日も早いご復興をお祈り致します。



鬼怒・小貝水防訓練に出席

令和5年6月25日に鬼怒川大形橋下流河川敷(下妻市)において鬼怒・小貝水防訓練が実施されました。当市ほか4市町の消防団が一堂に会し水防に関する伝統的な工法を学びました。坂巻議長・岡野総務委員長が出席し、坂巻議長から消防団の皆様へ激励の言葉を述べました。



左から、坂野議員、佐藤議員、岡野議員、坂巻議長、中村安雄議員、中村博美議員、大澤議員

永年勤続議員表彰

全国市議会議長会及び茨城県市議会議長会では、市議会議員として永年勤続され、地方自治の進展に寄与された議員に対し、毎年表彰を行っています。今年度も、当市議会から6名が表彰されました。

中村 安雄 議員

全国・茨城県市議会議長会
40年特別表彰

岡野 一男 議員

全国・茨城県市議会議長会
20年特別表彰

中村 博美 議員

全国・茨城県市議会議長会
20年特別表彰

佐藤 剛史 議員

全国市議会議長会
10年一般表彰

坂野 茂実 議員

茨城県市議会議長会
8年一般表彰

大澤 清 議員

茨城県市議会議長会
8年一般表彰



常総橋百景



第十一景 撮影地 常総市大塚戸町
 上空120mから
 菅生沼ふれあい橋

投稿者
 鈴木 正巳様

「茨城県自然博物館」と「水海道あすなろの里」を結ぶ全長285mの「菅生沼ふれあい橋」です。近年、全面リニューアルされ美しい橋に生まれ変わりました。橋のたもとから左への道路は、昨年、既設の鉄板道まで新設された「菅生沼自然観察遊歩道」です。この遊歩道は「法師戸水門」まで続き、菅生沼の自然観察が四季を通して更に楽しめます。

常総橋百景 写真募集中!!

皆様のご応募をお待ちしております。

【議会事務局】

〒303-8501

常総市水海道諏訪町

322213

9月 定例会議(予定)						
日	月	火	水	木	金	土
					1 本会議 議員全員 協議会	2
3	4	5	6	7	8	9
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
10	11	12	13	14	15	16
	予算・決算 特別委員会	決算特別 委員会	常任委員会	常任委員会	常任委員会	
17	18	19	20	21	22	23
		常任委員会	常任委員会	常任委員会		
24	25	26	27	28	29	30
	予算・決算特別委員会 議員全員協議会 本会議					

※正式な日程は常総市議会ホームページをご覧ください。

▶ 常総市議会映像配信中

常総市議会中継が動画で常総市ホームページよりいつでもご覧いただけます。

<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp>



常総市議会 中継

LINE facebook 配信中!

常総市公式アカウントにて、議会の情報を配信します。ご登録をお願いいたします。




市ホームページ



かけはし 広報委員会

- 委員長：石塚 剛
- 副委員長：柳井 真吾
- 委員：吉原 晴照
- 柴 典明
- 中島 義昭
- 入江 昶史

議長のご挨拶



4月末にグラウンドオープンした「道の駅常総」は、多くの皆様から好評を得て、予想以上の来場者があり、常総市議会としても大変うれしく思っております。

当市議会は、4月の改選後新しい体制での6月定例会議が終わりました。その定例会議では、交流人口の拡大や移住定住人口の増加を目的とした事業費や物価高騰の影響を特に受ける低所得者世帯への給付金事業等の補正予算を審議し議決をいたしました。

新型コロナウイルス感染症の心配が完全に消えていないことや物価高騰の家計への影響が心配されること等への対策事業が、今後も市から提案され、当市議会は市民の皆様が安心して暮らせるよう慎重に審議を行ってまいります。大変暑い日が続いておりますので、体調管理には十分注意しましょう。

常総市議会議長
坂巻 文夫